

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成31年03月26日

計画の名称	山口県における「産業力・観光力」の強化に資するみなとづくり													
計画の期間	平成30年度 ~ 平成34年度 (5年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	山口県													
計画の目標	国内物流ターミナルの整備により、国内物流貨物の集約による物流コスト削減を図り、山口県の産業力の強化を目指す。 「みなとオアシス」の拠点機能強化を図る港湾施設の整備により、山口県の観光力の強化を目指す。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		426	A	426	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30	H32	H34
1	・宇部港において国内物流ターミナルの整備率を61%(H30)から65%(H34)へ増加させる。 宇部港において国内物流ターミナルを整備した割合により算出する。 (施設整備率)% = (整備完了した延長) / (施設計画延長) × 100	61%	63%	65%
2	・室津港において小型船係留可能隻数を1隻(H30)から13隻(H34)へ増加させる。 室津港における小型船係留施設の整備完了割合に対する隻数により算出する。 (係留可能船舶数) = (整備完了した延長) / (施設計画延長) × (計画係留可能隻数)	1隻	8隻	13隻

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	H32	H33	H34			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	一般	山口県	直接	山口県	重要	建設	泊地(-5.5m)の整備(1-A1-1)	土量 V=393千m3	宇部港東見初地区						295	-	
	A02-002	港湾	一般	山口県	直接	山口県	重要	建設	岸壁(-5.5m)の整備(1-A1-2)	延長 L=300m	宇部港東見初地区						10	-	
	A02-003	港湾	一般	山口県	直接	山口県	重要	建設	道路の整備(1-A1-3)	延長 L=2,640m	宇部港東見初地区						10	-	
	A02-004	港湾	一般	山口県	直接	山口県	地方	建設	緑地の整備(1-A1-4)	面積 A=9,000m2	室津港中町地区						51	-	
	A02-005	港湾	一般	山口県	直接	山口県	地方	建設	浮棧橋の整備(1-A1-5)	延長 L=52m	室津港中町地区						60	-	
												小計						426	
												合計						426	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	R1			
配分額 (a)	26	42			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	26	42			
前年度からの繰越額 (d)	14	0			
支払済額 (e)	40	42			
翌年度繰越額 (f)	0	0			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越＋不用率 (i = (g+h)/(c+d)%)	0.0%	0.0%			
未契約繰越率＋不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 山口県における「産業力・観光力」の強化に資するみなとづくり

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 1) 計画の目標が上位計画等と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 港湾計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 1) 地域の課題を踏まえて計画の目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 整備施設で利用者や地元漁協の理解がある。	○
III. 計画の実現可能性 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○

事前評価

チェック欄

III. 計画の実現可能性
地元の機運

III. 計画の実現可能性

1) 利用者や地元関連企業、地元自治体等からの要請がある。

○